

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

2026年2月期において、さらなる売上および利益の向上を目指す

新規出店数
3店舗

② 中長期の経営戦略

1. PPM戦略の推進

PPMセンターで緻密な調理工程管理を実施。外食の商品力と食品工場の生産性を両立し、安定供給と高精度なコスト管理を実現

3. 新業態開発・新規出店

てけてけ・the 3rd Burgerに次ぐ柱となる業態確立。もつ焼き酒場てけてけ・新太郎のブラッシュアップと直営・フランチャイズ展開を推進

2. 既存ブランドの成長

メニュー見直しと新商品開発を定期実施。顧客満足度と来店頻度の向上を図る

4. 店舗QSCレベル向上

人材採用・研修教育・マニュアル強化で全店舗のQSCを向上。価格転嫁と並行しサービスレベルを強化

③ 対処すべき課題

① 原材料・エネルギー価格高騰

- 原材料・食材・エネルギー価格の継続的な上昇に対応
- 店舗運営コストの上昇により業界環境が厳しい

② 人手不足への対応

- 生産年齢人口減少とスポットワーカー増加への対応
- 特定技能制度による外国籍人材の安定確保と育成

③ コスト管理・経費削減

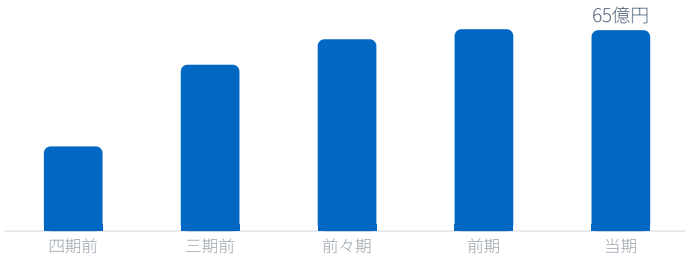
- 仕入れの見直しと業務システム刷新によるコスト削減
- 各種コスト増加の中での収益性向上が課題

面接で使えるポイント

- PPMセンターで外食の商品力と工場の生産性を両立させ、コスト管理を高度化する取り組み
- 2026年2月期に3店舗新規出店予定。てけてけ・the 3rd Burgerに次ぐ新業態開発に注力
- 特定技能制度で外国籍人材を受け入れ、人手不足という構造的課題に対応している戦略性

証券コード 3557

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
首都圏（一都三県）および大阪府で飲食事業を展開する上場企業

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

37点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 29.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収

439万円

小売業内 269位/318社

平均年齢

33.6歳

小売業内 291位/318社

平均勤続

3.8年

小売業内 294位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

